学校番号	３００１

令和８年度　農業科（環境緑化科）

教科	農業	科目	農業と環境	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	農業と環境　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「農業と環境」は、農業に関する学習を進めていく上での基礎的な科目に位置づきます。生きものを育てる、命をもらう、といった人間が生きていくうえでなくてはならないものそれが「農業」です。実習・座学を通して農業の知識・技術を身に付けるだけでなく「食」への感謝の気持ちも持ちましょう。実習では、作物や生きものを観察して積極的に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技術】
農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
科学的思考力と課題解決能力を育成し、農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
農業・環境に関する学習について興味・関心を高める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・農業生物の特性と栽培・飼育環境・環境保全・創造の重要性について理解させ、活用する技術を身に付ける。 ・観察、記録や調査などの探究的な学習活動を通して農業及び環境に関する基礎的な知識と技術を習得する。	・農業生物の生理・生態、林業・耕地の生態系の観察、記録、まとめ、分析や考察を通して、農業生物の生育や地域環境を科学的にとらえ、思考力や判断力を育成する。	・農業生物の育成と環境保全、農業及び環境に関する学習についての興味・関心を高める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	栽培の基礎、作物の観察 農業と環境を学ぶ	○農業と環境の学び方 プロジェクト学習と学校農業クラブ活動 ○トマト・ナス・トウモロコシの性質と形態並びに栽培。 課題設定と栽培計画 栽培の実態 加工と利用 ○レポートのまとめ	a:農業と環境の学び方、作物の栽培について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:農業と環境の学び方、作物の栽培について、課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:農業と環境の学び方、作物の栽培について理解し、基礎的な知識を身に付けている。	自己評価・相互評価　定期考査 授業への取り組み　課題、小テスト 学習状況の観察　ノートの記述	自己評価・相互評価　定期考査 授業への取り組み　課題、小テスト 学習状況の観察　ノートの記述	自己評価　定期考査 授業への取り組み　課題 学習状況の観察　ノートの記述
2学期	栽培の基礎、作物の観察	○ダイコン・ハクサイ・ジャガイモの性質と形態並びに栽培 課題設定と栽培計画 栽培の実態 加工と利用 ○レポートのまとめ	a:作物の栽培について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:作物の栽培について、課題を発見しその解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:作物の栽培について、基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している	自己評価・相互評価　定期考査 授業への取り組み　課題、小テスト 学習状況の観察　ノートの記述	自己評価・相互評価　定期考査 授業への取り組み　課題、小テスト 学習状況の観察　ノートの記述	自己評価　定期考査 授業への取り組み　課題 学習状況の観察　ノートの記述
3学期	農業生産と環境保全の基礎	○森林の生態系の構造 地域の自然環境の調査 栽培環境とその管理	a:環境や農業・農村について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:環境や農業・農村について、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、判断・表現する姿が見られる。 c:環境を調査し、農業・農村を取り巻く諸課題について検討する基礎的な技術を身に付け、その技術を活用している。	自己評価・相互評価　定期考査 授業への取り組み　課題、小テスト 学習状況の観察　ノートの記述	自己評価・相互評価　定期考査 授業への取り組み　課題、小テスト 学習状況の観察　ノートの記述	自己評価　定期考査 授業への取り組み　課題 学習状況の観察　ノートの記述

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度